

経済学部A方式I日程・社会学部A方式I日程・現代福祉学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～17	日 本 史	18～33
世 界 史	34～43	地 理	44～50
数 学	52～53		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. **数学**は以下の注意事項に従うこと。
 - ・解答用紙の所定の欄に受験学部を○で囲むこと。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

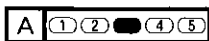
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

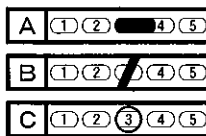
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世界史)

〔I〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

18世紀前半までに、北アメリカに13の植民地を形成したイギリスは、オランダ、ハプスブルク家の などと連合して、スペイン継承戦争を戦い、フランスから ・ ・ を獲得して北アメリカの領土を拡大させた。その後も、フレンチ=インディアン戦争とよばれる植民地戦争で勝利したイギリスは、1763年のパリ条約で、フランスから と ， ， のルイジアナを、スペインから を獲得した。フランスは、スペインに のルイジアナを譲渡し、北アメリカにおける領土をすべて失った。このように海を隔てた隣国であるイギリスとフランスは、植民地政策を巡って対立を続けるのであるが、この時期の国内の様相は、両国でかなり異なっていた。

近代初期から商工業が発達し、石炭・鉄などの資源にもめぐまれたイギリスでは、18世紀後半と早い時期から産業革命がおこった。紡績や織布の技術革新、蒸気機関の実用化、 が開発したコークス製鉄法などによって、イギリスには、綿工業、鉄工業、石炭業などの大規模な機械制工業が成立した。19世紀に入ると、製品の輸送のための蒸気機関車や蒸気船といった輸送機関も発展した。こうした発明・開発による技術の進展に加え、政府の政策によって広大な海外市場を確保したことで、イギリスは、良質で安価な工業製品をヨーロッパ内外の市場で売りさばくことができた。

このようにイギリスでは、国全体の富は増大し、資本主義体制が確立するとともに、資本家が新しい社会の支配階級として台頭したが、支配される方の労働者の生活は悲惨だった。⁽²⁾労働者階級としての意識にめざめた労働者らは、労働組合⁽³⁾を結成し、労働運動を活発化させた。

他方、イギリスとの戦争を繰り返したフランスの国家財政はゆきづまり、産業革命の本格化も、イギリスにかなり遅れを取った。政治の混乱が続き、旧体制を

くつがえすフランス革命が起きた。

18世紀のフランスでは、国家財政を立て直すため、特権身分に対する課税などの財政改革がこころみられた。しかし、特権身分と第三身分の対立が激化し、第三身分は、自分たちが真に国民を代表する国民議会であると宣言するに至った。国民議会は憲法の起草を始めたが、まもなく国王と保守的な貴族がこれを弾圧しようとした。パリの民衆がこれに反発して行ったのが、の攻撃である。

国民議会の解散後、1791年10月にひらかれた立法議会では、革命の進行をめぐってフイヤン派とジロンド派が対立した。1792年春、ジロンド派が政権をにぎったが、オーストリア・プロイセン連合軍がフランス国内に侵入するという危機に際して、パリの民衆と全国から集まった義勇軍が、同年8月に王権を停止させ、あらたに男性普通選挙による国民公会を成立させた。この中で、ジャコバン派が力をまし、1793年6月にはジロンド派を追放、1794年7月のクーデタで没落するまで、恐怖政治を強行した。ジャコバン派の没落後は、5人の総裁からなる総裁政府が樹立されたが、1796年には、私有財産の廃止をとらえて政府の転覆を計画したらが逮捕される事件が起きるなど、社会不安は続いた。こうした中で、混乱をおさめる力をもつ指導者として期待がかけられたのが、ナポレオン＝ボナパルトであった。

ナポレオンは、イギリスとインドの連絡を断つ目的で行ったへの遠征から帰国した後、18日のクーデタで総裁政府を倒し、3人の統領からなる統領政府をたてて第一統領として事実上の独裁権をにぎった。

1802年、ナポレオンはイギリスとの和約を結んだが、1805年には、イギリス・ロシア・オーストリアなどが第3回対仏大同盟を結成し、同年10月に起きたの海戦では、イギリス軍がフランス軍を破った。しかし同年12月、ナポレオンは、オーストリア・ロシアの連合軍をの三帝会戦で破り、1807年にはプロイセン・ロシアの連合軍を破って条約を結ばせて、ポーランド地方にワルシャワ大公国をたてるなど、ヨーロッパ大陸をほとんどその支配下においた。

ナポレオンは、フランス産業のために大陸市場を独占しようと、イギリスとの通商を禁じる大陸封鎖令を発したが、ロシアがこれを無視してイギリスに穀物を

輸出したため、1812年に大軍を率いて遠征した。これが失敗に終わったことをきっかけに、諸国は解放戦争にたちあがり、1813年、の戦いでナポレオンを破り、翌1814年に皇帝の位から退かせた。1815年、ナポレオンは皇位に復位したものの、再びの戦いで大敗し、に流された。

問1 ～の空欄に入るもっとも適切な地名を以下の語群からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 アウステルリッツ | 2 アカディア |
| 3 アミアン | 4 アラバマ |
| 5 イエナ | 6 イエメン |
| 7 ヴァージニア | 8 ヴァージン諸島 |
| 9 ヴァレンヌ | 10 エジプト |
| 11 エルバ島 | 12 オーストリア |
| 13 カナダ | 14 カリフォルニア湾地方 |
| 15 スウェーデン | 16 セイロン島 |
| 17 セネガル | 18 セントヘレナ島 |
| 19 セントローレンス川以西 | 20 セントローレンス川以东 |
| 21 チェサピーク湾 | 22 テイルジット |
| 23 テキサス | 24 テュイルリー |
| 25 ドミニカ島 | 26 トラファルガー |
| 27 ニューファンドランド | 28 バステューユ |
| 29 ハドソン湾地方 | 30 パリ |
| 31 フィラデルフィア | 32 ブリュメール |
| 33 フロリダ | 34 ベルギー |
| 35 ペンシルヴァニア | 36 マリアナ諸島 |
| 37 ミシシッピ川以西 | 38 ミシシッピ川以东 |
| 39 メキシコ | 40 ユトレヒト |
| 41 ライプチヒ | 42 ルクセンブルク |
| 43 ワーテルロー | |

問2 ～ の空欄に入るもっとも適切な人名を解答欄に記せ。

問3 下線部(1)の蒸気機関車について、1825年、35台の客車と貨車をひいての試験走行に成功したのは、どの都市と都市の間であったか。以下の語群から二つの都市を選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| あ エディンバラ | い グラスゴー | う シェフィールド |
| え ストックトン | お ダーリントン | か ニューキャッスル |
| き ノッティンガム | く バーミンガム | け ブリストル |
| こ マンチェスター | さ リヴァプール | し リーズ |
| す ヨーク | せ ヨークシャー | そ ロンドン |

問4 下線部(2)の問題に対応して定められた一般工場法の内容として、正しい記述を以下の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- あ 成人労働者の8時間労働が定められた。
- い 女性の夜間就業の禁止が定められた。
- う 13歳未満の労働禁止が定められた。
- え 工場監督官制が規定された。

問5 下線部(3)に関連し、労働者の団結を禁止した法律が廃止された年を、以下の選択肢から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| あ 1802年 | い 1824年 | う 1830年 |
| え 1833年 | お 1847年 | か 1871年 |

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

第二次世界大戦までにアフリカのほとんどはヨーロッパ列強によって植民地化されたが、戦後から急速に独立が始まった。1951年、アフリカで戦後最初に独立したのは、 が1912年にオスマン帝国から奪った であった。1957年には が戦後最初のサハラ砂漠以南の自立した独立国家となり、この国が から独立するのを指導したのは であった。翌年には同じサハラ以南で、 がセクトゥーレの指導によって から独立した。その後、1960年にはいっきよに カ国が独立したので、この年は「アフリカの年」と呼ばれている。1962年には、10年近くにおよぶ長い戦争を経て、民族解放戦線が 政権から の独立を認めさせた。その翌年には、アフリカ諸国の連帯や植民地主義の克服などのために、 で カ国が参加した会議が開かれ、 が結成された。

アフリカには、多くの地域が独立した後も、少数の白人による支配体制が残っていたが、1980年代以降から消滅へとむかった。南アフリカは、第二次世界大戦後から極端な人種隔離政策を導入しており、国際的に非難が高まった後も継続していた。しかし、1975年に とモザンビークが独立し、 植民地が解体したことで、国際的な孤立が深まった。さらに1980年には、支援していた隣国 の白人政権が倒れ、アフリカ人が政権を握った国家となり、国名も と改称された。その後、南アフリカが1949年に不法に合併して人種隔離政策を強行させていた が1990年に独立した。このような国際的圧力のなかで、人種隔離政策は1991年に 大統領によって撤廃された。そして1994年の選挙では、一貫して人種差別反対運動を展開してきた が第一党となった。

アフリカの諸国は独立したものの、各地で悲惨な内戦がくりかえされている。 では独立した直後に、暴動をきっかけに地下資源の豊富なカタンガ州をねらって が介入し、激しい内戦となり、初代総理の が殺害された。 では、部族間の対立が激化し、1967年から70年までビアフラ戦争と呼ばれる内戦となり、多数の餓死者が出た。 では1990年から

94年までツチ族とフツ族の対立で内乱が起き、大量虐殺が起きた。これは現代アフリカ史上で最悪の事件といわれている。

問1 空欄 ～ に入るもっとも適切な国名を下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|---------|--------|
| あ イギリス | い イタリア | う オランダ |
| え スペイン | お ドイツ | か フランス |
| き ベルギー | く ポルトガル | |

問2 空欄 ～ に入るもっとも適切な国名を下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| あ アルジェリア | い アンゴラ | う エチオピア |
| え エリトリア | お ガーナ | か ギニア |
| き ギニア=ビサウ | く コンゴ | け ザンビア |
| こ ジンバブエ | さ スーダン | し ソマリア |
| す チュニジア | せ ナイジェリア | そ ナミビア |
| た モロッコ | ち リビア | つ リベリア |
| て ルワンダ | と ローデシア | |

問3 空欄 ～ に入るもっとも適切な人名を下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|---------|------------|
| あ エンクルマ | い チャーチル | う デクラーク |
| え ド=ゴール | お ナセル | か ハイレ=セラシエ |
| き ベン=ベラ | く マンデラ | け ルムンバ |
| こ ローズヴェルト | | |

問4 空欄 ～ に入るもっとも適切な数字を下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|
| あ 15 | い 17 | う 21 | え 29 | お 30 | か 53 |
|------|------|------|------|------|------|

問5 空欄 ～ に入るもっとも適切な語句を下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

あ アフリカ諸国首脳会議

い アフリカ統一機構

う アフリカ民族会議

え アフリカ連合

お パン＝アフリカ会議

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

中国で2千年以上前に書かれた書物が後代に伝えられ、さらに東アジアの国々に大きな影響を与えたのは、古い書物が儒学のなかに取り込まれ、儒学が前漢以降国家の公式の学問になったからであろう。儒学は紀元前6世紀なかばに生まれた孔子に源を発する思想であり、秦の時代にはその教えは迫害されたが、紀元前3世紀末に中国全土を統一した前漢は儒家の教えを重んじた。この国の第7代皇帝武帝は、儒家であった董仲舒の意見を容れ、儒家の教えを国家統一の原理としたのである。そして、儒学の基本となる5種の経典、すなわち五経を重視し、これを教え、普及する任務をもつ官職、五経博士を置いた。

五経のうちには、紀元前8世紀後半から紀元前5世紀前半までの魯を対象とする年代記である [1] が含まれている。この書が尊重されたのは、これが孔子の編になるとされたからである。他に五経のうちには、黄河流域の歌謡などが記された中国最古の歌集である [2] ，伝説上の帝王、夏・殷・周の諸王の言葉を記録した [3] などが含まれている。五経のうちには南方の方言で記された戦国時代の韻文を集めた [4] は含まれていない。

儒学が中国社会でさらに重要なものとなったのは、隋の初代皇帝となった文帝が開始した科挙が唐においても続けられ、この際、儒学が官吏となるための必須の知識となったからであった。唐初の学者、顔師古は五経の定本を定め、孔穎達が太宗の命を受けて、五経の注釈書である [5] を編集した。これは科挙のテキストとされた。

科挙の制度は宋の時代に完成されたとみなされている。この時代には儒学が大きな発展を見せる。11世紀後半に活躍した朱熹は、実践的な倫理としての儒学を追求した。彼は新たに儒学の基本的な文献として4種の文書を選定し、これについて [6] を執筆し、これを五経以上に重視した。四書のうちには孔子の言行を記したとされる [7] などが含まれる。彼の思想は、「朱子学」の名によってよく知られている。彼の教えは広く東アジアに大きな影響を与えた。

明代になって儒学に新しい息吹を吹き込んだのは王陽明であった。彼は知行合一の命題の下に認識と実践が表裏一体をなすと主張した。明の時代には、永楽帝

の命によって四書の注釈書である [8] , 五経の注釈書 [9] が編集され、また朱熹などの宋学の学説を集大成した [10] が編集された。

過去のできごとを記す書物の歴史も古い。 [1] は編年体で記されていた。前漢の時代に司馬遷が記した [11] はこれとは異なる紀伝体であった。後漢の時代の班固による [12] も紀伝体であり、その後、正史はこのスタイルで記されることになる。北宋の時代に司馬光によって記された [13] は編年体で記された。

言論統制を行った始皇帝は農業・医学・薬学などの書物以外を燃やすことを命じたという。このことから、すでにこの時代にこれらの実用的な知識を伝える書物があったことがわかる。現在知られている実用的な書籍のうちには、後漢の時代に許慎が記した、漢字一字一字について、その由来と意味を説明する [14] , 後漢の時代に記され、西晋の時代に整理された医学書の [15] , 北魏の時代に記された地理書 [16] , 6世紀に書かれた、現存する中国最古の農業書 [17] がある。

明の時代、ことに永楽帝の治世は大規模な文化事業が行われた。この時期には中国最大の百科事典とされる『永楽大典』が刊行されているが、「実学」においても大きな事績が見られる。徐光啓が編集した農業に関する [18] , 李時珍の医薬書 [19] , 各種産業に見られる技術を扱う宋応星の [20] が有名である。

問 空欄 ～ に入るもっとも適切な語句を下記の語群の中からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[語群]

- | | | |
|------------|----------|----------|
| あ 『漢書』 | い 『五経正義』 | う 『五経大全』 |
| え 『古今図書集成』 | お 『史記』 | か 『詩経』 |
| き 『四庫全書』 | く 『資治通鑑』 | け 『四書集注』 |
| こ 『四書大全』 | さ 『儒林外史』 | し 『春秋』 |
| す 『傷寒論』 | せ 『書経』 | そ 『水経注』 |
| た 『崇禎曆書』 | ち 『齊民要術』 | つ 『性理大全』 |
| て 『説文解字』 | と 『楚辞』 | な 『大学』 |
| に 『中庸』 | ぬ 『天工開物』 | ね 『農政全書』 |
| の 『本草綱目』 | は 『孟子』 | ひ 『文選』 |
| ふ 『礼記』 | へ 『聊斎志異』 | ほ 『論語』 |